

溶材商社の景況分析・市場戦略

農業・食品の成長に期待

サイサン産業ガス部長・河野昌幸氏



では農業・食品向け高圧ガスの需要開拓に力を入れている。その先駆けとして3年前に設立したガスワンクルー

プ「ベジ・ワン北杜」のパプリカ栽培工場では、暖房用にLPガス、光合成用に炭酸ガスを

使用しているが、特に炭酸ガスは年間300トも消費しており、大切な需要先の一つに成長している。

また、栽培を通して

ただ、溶接機関係を農業・食品関連業者とみると、汎用機は引きの連携が深まり、食品向き堅調に推移している。洗浄用の次亜殺菌水装置のもの、補助金政策が活発だった一昨年と増加するなど、相乗効果もでてきており、比較してロボットなどの大型システムの動きが鈍くなってきている。今後の展開に期待している。

一方、高圧ガス・溶

人手不足が大きな課題になってきている。当社の医療ガス部では介護サービスなど様々な形で女性社員が活躍しているため、産業ガス部でも昨年から営業職に女性を採用した。高圧ガス販売主任者資格の取得やメーカーの研修などを通して一人前の営業担当者に育てていきたい。

今年4月から都市ガスの全面自由化がスタートし、当社でも東京

当社グループの今年度（決算期8月）のスローガンは「電力・ガス自由化トップランナー」。昨年の電力とともに都市ガス自由化にも積極的に取組み、総合エネルギー企業として、顧客にとって最適なエネルギーを提案できるような態勢を築きたい。

溶接 ニュース

2017年（平成29年）6月6日

このように中、当社 材販売業界では現在、